

ケネディとドゴール

—— 本田 弘 ——

景気刺激策として赤字予算

彼の先ず、何よりも、米資本主義の力を強化するために、前例のない、政策を提議した。即ち、「私は、今後三年間の合計百二十五億ドルにのぼる減税を提案するよう勧告する。うち初年度の六三億は六〇億ドルである。」「ケネディ教育より」というわけで、大市況減税のりたしたのである。

過去二年間、ケネディは、停滞状況にある米資本主義に対して、必死の建て直し策をうって来たが、それは、事実が示す通り、ほとんど効果を得ておらずに終わった。今回の思いきった減税は、かかる停滞状況打破のための、いわば最後の切り札ともいえるべきものであり、これによって、民間、個人の有効需要を刺激しようとする、米資本主義の立ち直りを図ること

米国の欧州核戦略案の狙い

ケネディは以上のような形で、米資本主義の立ち直りを図ること

かかる米ブルジョアジーの意図に對して、真向から挑戦を宣言したが、昨一四日のドゴールの記者会見で、ケネディの核戦術案をめぐって、彼は、ケネディの核戦術案をめぐって、

ドゴールの偉大なる欧州

彼は、アメリカと対等になりつつあるE.E.C.を背景に、英を除いた新しい欧州の建設に、一歩踏み出した。ケネディの核戦術案をめぐって、彼は、ケネディの核戦術案をめぐって、

国際政治の多元化

核戦略、英のE.E.C.加盟をめぐる

去る一月一四日、再編成されたこの資本主義世界の現状を象徴的にものがたる二つのでき事が、全世界の電波にわたった。

一つは、ケネディ米大統領の今年度一般教書であり、一つは、その一般教書の内容をもふまえたドゴール大統領の記者会見である。以下、その内容の分析を通じて、資本主義世界の再編成の動向を明らかにしよう。

1 米国のブルジョアジーの課題

美露露句をならべ、ブルジョアジャーナリズムからは、「自信と希望にみちた教書」と主観的願望(一)をもつて評価されているケネディ教書も、実際のところ、その内容は深刻なものをはらんでゐる。

かつては、資本主義世界の盟主として、圧倒的なヘゲモニーを占めていた米資本主義であったが、周知のように、今や、相対的にその地位を低下しつつある。

西欧の「協力者(パートナー)」、その地位の確保、日本の力量増大の確保等は、米ブルジョアジーの力量低下の告白である。

かかる資本主義世界の新たな力関係にいかに対応するか、そして、その中で、自己の力量を如何に強化し、かつての圧倒的なヘゲモニーを再確立するか、というところが、現在の米ブルジョアジーの最大の課題である。そして、この課題を彼らは、「社会主義」圏の占めるに至った(六三年度は、五

八・八%)。この対決の中で行なうていかねばならぬのである。

軍事費(宇宙費)は、一方では「社会主義」圏との対決、プロレタリアート人民の闘争の抑圧等々の機能を果しつつ、他方では、絶好の景気刺激策としての機能を果たす。なぜなら、設備投資等は、過剰生産物の需要口でありながら、一旦、その過剰生産物が設備に転化する、その設備は巨大な生産力をもち、将来の過剰生産を準備するの反して、軍事費・宇宙費(教育費)というわけで、大市況減税のりたしたのである。

過去二年間、ケネディは、停滞状況にある米資本主義に対して、必死の建て直し策をうって来たが、それは、事実が示す通り、ほとんど効果を得ておらずに終わった。今回の思いきった減税は、かかる停滞状況打破のための、いわば最後の切り札ともいえるべきものであり、これによって、民間、個人の有効需要を刺激しようとする、米資本主義の立ち直りを図ること

2 米国の欧州核戦略案の狙い

ケネディは以上のような形で、米資本主義の立ち直りを図ること

かかる米ブルジョアジーの意図に對して、真向から挑戦を宣言したが、昨一四日のドゴールの記者会見で、ケネディの核戦術案をめぐって、彼は、ケネディの核戦術案をめぐって、

3 ドゴールの偉大なる欧州

彼は、アメリカと対等になりつつあるE.E.C.を背景に、英を除いた新しい欧州の建設に、一歩踏み出した。ケネディの核戦術案をめぐって、彼は、ケネディの核戦術案をめぐって、

改良主義・官僚支配反対!

電通労研第2回全国集会開かる

更に資本主義の新たな発展段階は、E.E.C.の例の如く、ブルジョアジーは必死に延命策を講じている。これは貿易自由化を乗り切るため、民族主義擁護の観点から、国家権力を密着して行っている。

労働運動の研究団体として、更に行動団体として、各地で会員は常に職闘争の先頭に立つて来た。前掲不在の今日、現実の階級闘争は、支那階級の先制攻撃の前に、明確な反体制を作り得ない状況の中で、電通労研が、大阪市外電話局において果した官僚組合員との闘争、長期運動方針という右傾向の中で、敢然と労働運動の階級性原則からの出発を、大衆闘争を基礎として展開する基本とする活動は、全労働者に強く問題提起をなすものである。

すでに、東京、四国においては単に電通のみならず、全通、国鉄、医務協、全専売、教組と、地域的に活動家も結集し、新たに階級闘争へ労働者自身の手で介入せんとしている。勿論、直ちに階級闘争への移行が問題となるのではなく、その行動と研究活動が、前衛形式への一つの要因であることを確認し、全労働組合が、日本の労働組合官僚のドグマに支配され生き生きとした活動が陳列されている今日、官僚支配の打倒、階級闘争と労働運動の位置づけの明確化と、情勢への対応は、九州、長崎造船の社会主義研究会と共に、労働者の行動研究組織として与える影響は非常に大きい。

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

遣し、代議員に對し労働の見解を文書によって表明し、早も民間、代々木と対立する第三勢力として登場している。

労働運動の研究団体として、更に行動団体として、各地で会員は常に職闘争の先頭に立つて来た。前掲不在の今日、現実の階級闘争は、支那階級の先制攻撃の前に、明確な反体制を作り得ない状況の中で、電通労研が、大阪市外電話局において果した官僚組合員との闘争、長期運動方針という右傾向の中で、敢然と労働運動の階級性原則からの出発を、大衆闘争を基礎として展開する基本とする活動は、全労働者に強く問題提起をなすものである。

すでに、東京、四国においては単に電通のみならず、全通、国鉄、医務協、全専売、教組と、地域的に活動家も結集し、新たに階級闘争へ労働者自身の手で介入せんとしている。勿論、直ちに階級闘争への移行が問題となるのではなく、その行動と研究活動が、前衛形式への一つの要因であることを確認し、全労働組合が、日本の労働組合官僚のドグマに支配され生き生きとした活動が陳列されている今日、官僚支配の打倒、階級闘争と労働運動の位置づけの明確化と、情勢への対応は、九州、長崎造船の社会主義研究会と共に、労働者の行動研究組織として与える影響は非常に大きい。

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

(関西)共産主義者同盟政治理論誌

共産主義 第14号

(近日刊行)

■主張 当面する階級情勢と奮闘

飛鳥浩次郎

■中ソ論争と我々の立場

園田浩

■構造改革理論の本質

佐々木和雄

労働者協会 発行 ¥80

編集言

数年來、続けられた「中立」の民族主義革命論であり、最も具体的には、先日の東独共産党大会で一つのピークに達した。ソ連共産党は、中国共産党の最大の特長とする日本共産党を教条主義と見做す。ソ連共産党は、二つの権威の論争の前に全く正統と認められていない。ブルジョア修正主義的(というより)だが、民族民主革命をますます強固にしようとする日共中央の動向をみれば、ケネディ問題に對して暴露したらしいのである。

ソ連共産党は、一月二十四日の中央委員会決議をめぐって、米の軍事封鎖をめぐって、春闘を労働者たちの奮闘から「国民のための奮闘」に市を広くにすることを決定した。このスローガンは、選挙のための奮闘、とでも書きかえれば、ソ連共産党の「……」は、はなははなしく、彼は、革命、(REVOLUTION)を期待する。行きの(VOLUTION)を期待する。

この教条主義といわれて、中国共産党の立場を我々派の三派純粋派は、石炭闘争は、抵抗闘争から政策転換闘争へ、それが昨年末からは更に本格的な構造改革闘争へと、前進、し評価においては、ソ連よりも原則をまもる。しかしソ連も、レナリア国際主義の視点もなく、彼らも自国の國境の擁護を完全に優先させ、各国の闘争を完全に従属させることを要求する。即ち、自国の最大の権威である米帝國主義との対決を第一、掃蕩資金援助を強く要求し、民に強く要求する。その日本の真

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派

科学的情勢に基づく行動方針の提起

全国電通労働運動研究会(電通労研)の第二回全国集会が、六二年度の春、大阪において、各地労研の代表者が集まって開かれた。

全電通内の新左翼活動者の中核としての電通労研は、六二年度の一月に結成されて以来、各地において活発な活動が続けられ、夏の全国大会には、オプサーバーを派